

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

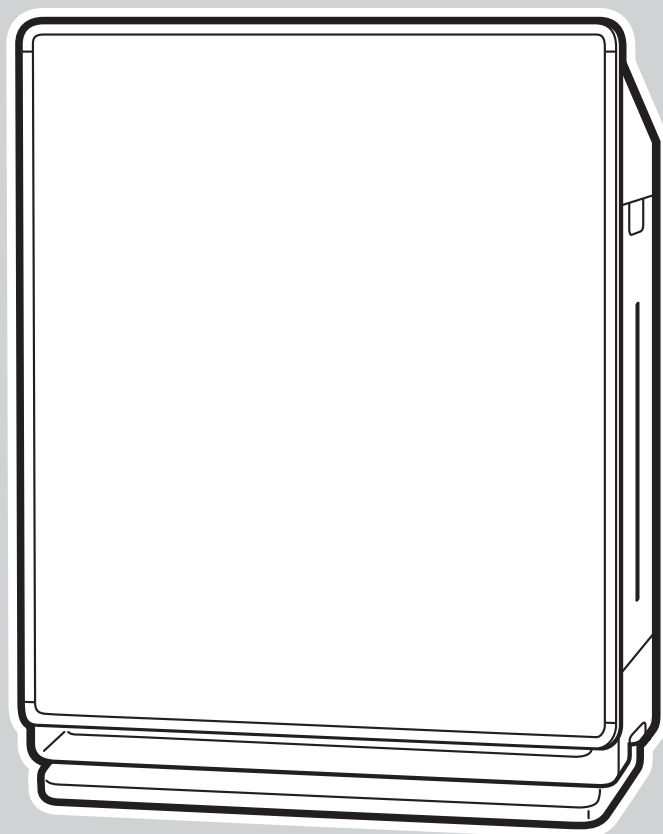
家庭用

日立次亜塩素酸加湿器

エイチエルエフ ゼット

型式 HLF-Z5000

このたびは、日立次亜塩素酸加湿器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。



日立の家電品
お客様サポート

ホームページから
以下のサービスが
ご利用いただけます。

- ▶ 家電品の登録 ※1
- ▶ よくあるご質問

▶ お知らせ

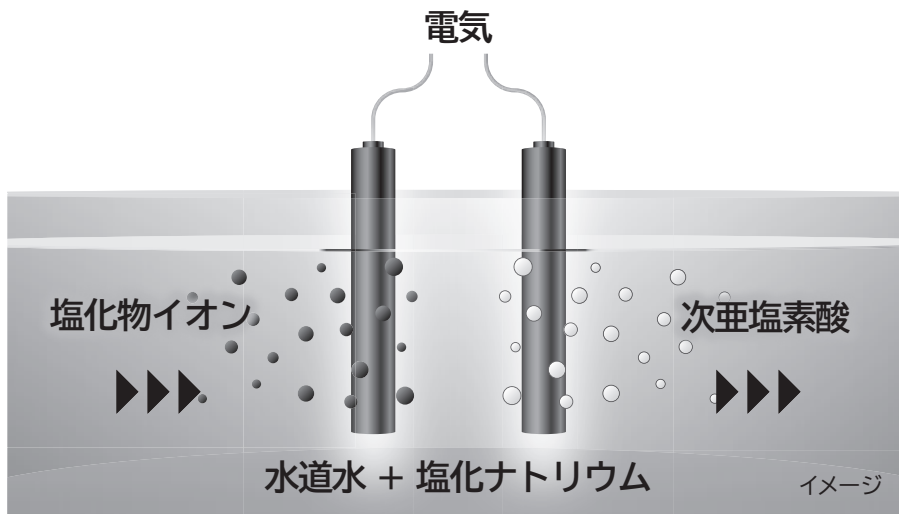
※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。

詳しくは → P.4

- この日立次亜塩素酸加湿器は一般家庭用です。
他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる
海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを
抜き、ご使用を中止してください。

特長

次亜塩素酸生成のしくみ



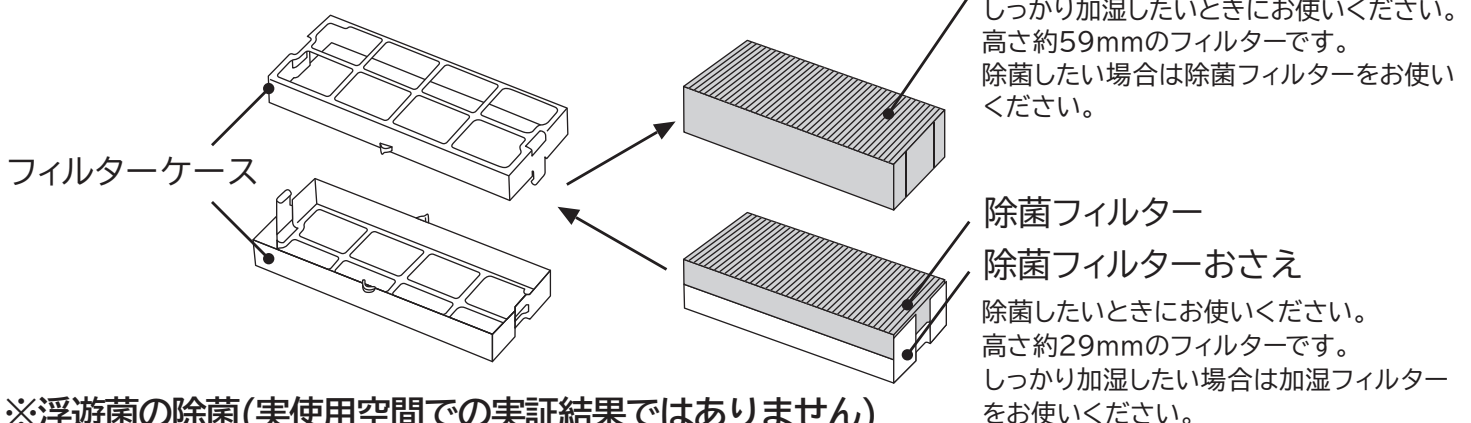
水道水と塩化ナトリウムを電気分解することで、除菌効果を発揮する「次亜塩素酸」を生成します。

運転/モード

		自動	強	弱		
静音	ターボ				風量	運転 切/入
静音運転スイッチ 静音運転を設定します。	ターボ運転スイッチ ターボ運転を設定します。 ルーバーがスイングします。	風量切替スイッチ 自動運転のモードを設定します。			運転 切/入スイッチ 運転の「切」「入」を行います。	
		自動 → 強 → 弱				

除菌したいときは

加湿フィルターを除菌フィルターに交換してください。



※浮遊菌の除菌(実使用空間での実証結果ではありません)

試験機関：(一財)北里環境科学センター

試験方法：約6畳の試験空間で浮遊菌数の変化を測定

除菌の方法：次亜塩素酸加湿器を「ターボ」運転・電解強度「強」運転、
除菌フィルターを使用し、予備運転を1時間行い、試験開始

対象：浮遊した1種類の菌

試験結果：約90分で99%抑制

試験番号：北生発2019_0260号

目次

■ 特長	P2
・ 次亜塩素酸生成のしくみ	
・ 運転/モード	
・ 除菌したいときは	
■ 目次	P3
■ 「日立の家電品お客様サポート」の利用	P4
■ 安全上のご注意	P4～7
■ 知っておいていただきたいこと	P8～9
・ 必ず水道水（飲用）をご使用ください	
・ 使用場所について	
・ 現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）	
■ 各部の名称	P10～11
■ 準備する	P12
■ 使いはじめるまでの手順	P12～13
■ 使いかた	P14～15
・ 除菌したいときは	
■ お手入れのしかた	P16～18
・ 水タンクのお手入れ（毎日）	
・ 本体のお手入れ（汚れたら）	
・ 吸気フィルターのお手入れ（2週間に1回）	
・ お手入れランプが点滅したら（1週間に1回程度）	
・ お手入れランプが点灯したら（2週間に1回程度）	
・ 除菌/加湿フィルターのお手入れ	
■ 除菌/加湿フィルターの交換のしかた	P19
・ 除菌/加湿フィルター交換ランプが点滅したら	
・ 除菌フィルターの交換	
・ 加湿フィルターの交換	
■ 故障かな？と思ったら	P20～21
■ 保管	P21
■ 保証とアフターサービス（必ずお読みください）	P22
■ 仕様	P22
■ ご相談窓口	P23

「日立の家電品お客様サポート」の利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 家電品の登録※1
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問

①コードを読み取る



日立の家電品
お客様サポート

②画面の案内に従ってお客様サポートのご利用や家電品の登録※1を行う





※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造番号を入力してください。製品本体のコードから登録することで製造番号の入力を省略できます。

- コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>
- ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
- ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〈絵表示の例〉

 禁止	 指示を守る	 分解禁止	 水ぬれ禁止
 接触禁止	 ぬれ手禁止	 電源プラグを抜く	

警告

分解修理・改造はしない

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買いあげの販売店、または
「ご相談窓口」(→P.23)にご相談ください。



分解禁止

お手入れのときは、必ず電源プラグを抜く

感電やけがの原因になります。



指示を守る

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

ショート・感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

幼児の手の届く範囲では使用しない

感電やけがの原因になります。



禁止

警告

吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない

内部に触れると、感電やけがの原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



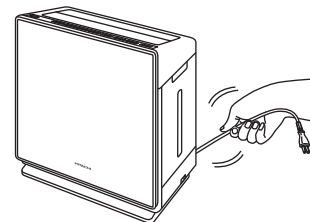
ぬれ手禁止

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじることなどはしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止



交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

火災・感電・故障の原因になります。



禁止

定期的に電源プラグのほこりを取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



指示を守る

水タンク、本体、除菌/加湿フィルターのお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。



禁止

異常・故障のまま使用すると火災・感電・けがにいたるおそれがある

すぐに電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店または、ご相談窓口(→P.23)に点検、修理を依頼してください。



指示を守る

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しない

感電や発熱による火災の原因になります。



指示を守る

可燃性の粉じんやグラインダ・溶接機など火花状の粉じんが発生する工作機械の設置された場所では使わない

火災の原因になります。



禁止

注意

水タンク・トレイおよび本体内部は常に清潔にする

水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
(汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質により、まれに健康を害する原因になります。)



指示を守る

排水は水道水を流しながら行う

シンクの酸化(サビ)の原因になります。



指示を守る

水タンク・トレイから水がこぼれないように持ち運ぶ

床や家財などに水がかかると変色の原因になります。



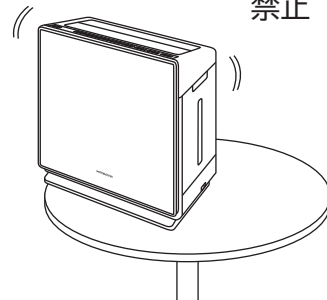
指示を守る

不安定な場所や高い場所に置かない

落下や転倒によるけがや家財の水ぬれ、漏電、感電、火災の原因になります。



禁止



油分が浮遊する場所に置かない

ひび割れによるけがの原因になります。



禁止

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

運転中は、お手入れをしない

感電やけがの原因になります。



禁止

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがない

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。故障の原因になります。



禁止

ルーバーや前面パネルを持ったり片手で持ち運ばない

ルーバーや前面パネルを持ったり片手で持ち運ばないでください。落下によるけがの原因になります。



禁止

暖房機やテレビなどの電気製品の上に置かない

転倒して水がこぼれたり、水もれすると感電・故障の原因になります。



禁止

お手入れ後は部品を確実に取り付け、除菌/加湿フィルター、キャップ、前面パネルなどの部品ははずしたまま使用しない

故障の原因になります。



指示を守る

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



指示を守る



長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜く

美術品や学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になります。



禁止

必ず水道水(飲用)を使用し、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わない

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。また、本体の故障の原因になります。



禁止

高温・多湿・水のかかる場所で使わない

ショートなどによる感電や火災の原因になります。



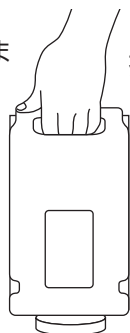
水ぬれ禁止

持ち運びは水タンク・トレイを抜き必ず取手を持って行う

水タンク・トレイに水が入ったまま持ち運ぶと本体が傾き、水がこぼれる原因になります。



指示を守る

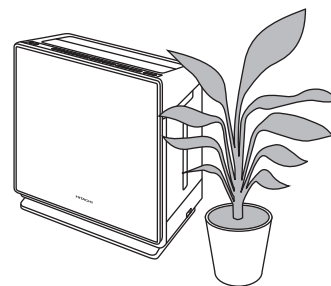


動植物に、直接風が当たる場所で使わない

悪影響を及ぼす原因になります。



禁止



⚠ 注意

**家財や壁、手すりなどの金属物に
直接風を当てない**

シミやサビの原因になります。



禁止

**「お手入れのしかた」に
したがってお手入れをする**

汚れがひどくなると、カビの発生、
悪臭の原因になります。



指示を守る

**凍結のおそれのあるときは、
水タンクと本体内の水を捨てる**

凍結しますと、故障の原因になります。



指示を守る

**燃焼器具と一緒に使うときは、
換気する**

燃焼器具などから発生する一酸化炭素を
除去するものではありません。



指示を守る

**穴があいたり、破損した水タンク・
トレイは使わない**

水がこぼれて家財などをぬらす
原因になります。



禁止

**化学薬品、芳香剤、アロマオイル
などを水タンクやトレイに入れない**

水タンク、トレイが破損して家財などを
ぬらす原因になります。



禁止

**ベンジンやシンナーでふいたり、
殺虫剤をかけたりしない**

ひび割れによるけが、ショートなどによる
感電や火災の原因になります。



禁止

**水タンク、トレイの水を飲まない、
動植物などに与えない**

健康を害したり、悪影響を及ぼす
原因になります。



禁止

**油・可燃性ガスを使用したり、
漏れるおそれのある場所で
使わない**

引火や本体への吸引による、
発火や発煙の原因になります。



禁止

**煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは、
運転しない**

薬剤成分がフィルターなどに付着し、吹出口から
放出され、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分に換気してから
運転してください。



禁止

本体に座ったり、上に乗らない

落下や転倒によるけがの原因になります。
とくに小さなお子さまのいるご家庭は
ご注意ください。



禁止

本体を倒さない

水がこぼれて感電や火災の原因になります。



禁止

水や飲料の入った容器を載せない

こぼれた水が中に入ると、
感電や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

**可燃物や、火のついたタバコ・
線香などを近づけない**

引火による火災の原因になります。



禁止

**使用中に身体に異常を感じた
ときは、直ちに使用を中止し、
医師に相談する**



指示を守る

知っておいていただきたいこと

必ず水道水(飲用)をご使用ください

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。温水(40℃以上)、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。

使用場所について

■窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所では使用しない
お部屋の湿度が正しく表示できなくなります。

■直射日光が当たる場所、暖房機のそばでは使用しない
本体などが変形・変色する原因になります。また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

■カーテンの近くやふとんの上では使用しない
吹出口や吸気口がふさがれ故障の原因になります。

■高いところ、傾いた場所、不安定な場所(毛足の長いじゅうたんなど)では使用しない
地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。傾いた場所に設置すると、フロートが作動して運転が停止する場合があります。

■電磁調理器の近くなど、磁気の多いところでは使用しない
フロートが誤動作し、給水を正しくお知らせできない場合があります。

■テレビやラジオなどの近くでは使用しない
映像の乱れや雑音の原因になります。
1m以上離して置いてください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。

■家財や壁、手すりなどの金属物に風を直接あてない
シミやサビの原因になります。

■本機の周囲は右図に示す距離をとる

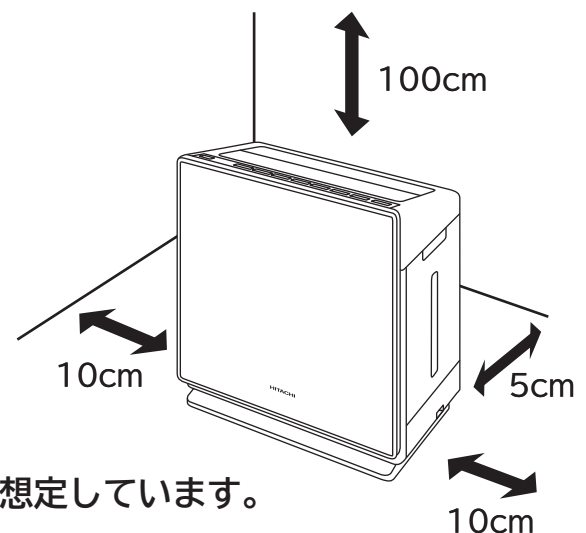
■本機は室内に置き、5℃から35℃の環境で使用する

■一般家庭において、1日あたり12時間程度のご使用を想定しています。

■凍結のおそれがあるときは、水タンク・トレーの水を捨てる

■本体の上に物を載せない
誤作動や故障の原因になります。

■運転を一時的に停止する場合は、電源プラグを抜かない
除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖する原因になります。



■長時間、電源プラグを抜いたときは、水タンク・トレーの水を捨てる

通電しないため、次亜塩素酸の効果があがらず、カビや雑菌が繁殖する原因になります。
一時的に電源プラグを抜いた場合は支障ありません。

■喫煙環境で使用しない

性能の低下、除菌/加湿フィルターの交換時期が早くなる原因になります。
タバコの煙を吸い込むとヤニなどで本体内部が汚れる原因になります。
ヤニなどを含んだ汚れた水が本体から飛ぶおそれがあります。

■長時間、同じ場所で使うときは

同じ場所で使い続けると、製品の吸い込み空気により、本体周辺の壁などが汚れることがあります。
ときどき設置場所を移動したり、定期的に壁などを清掃することをおすすめします。

■吹出口を布やタオルなどでふさがない

誤作動や故障の原因になります。

塩化ナトリウムについて

■塩化ナトリウムを本機以外で使わない

■塩化ナトリウムは必ず付属品、または別売品(→P.21)を使う

■給水をしたときは、必ず塩化ナトリウムを1包水タンクに投入する

■1回の投入で1包を必ず全て使い切る

■塩化ナトリウムを飲んだりしない

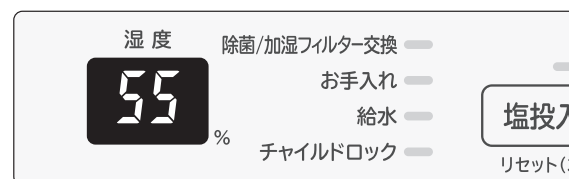
誤って塩化ナトリウムを飲まれたときは、直ちに十分な水をお飲みください。
一度にたくさん飲まれたときや、高血圧症・心臓病等の方が飲まれたときは、医師にご相談ください。

■幼児の手の届かない場所に保管する

現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）

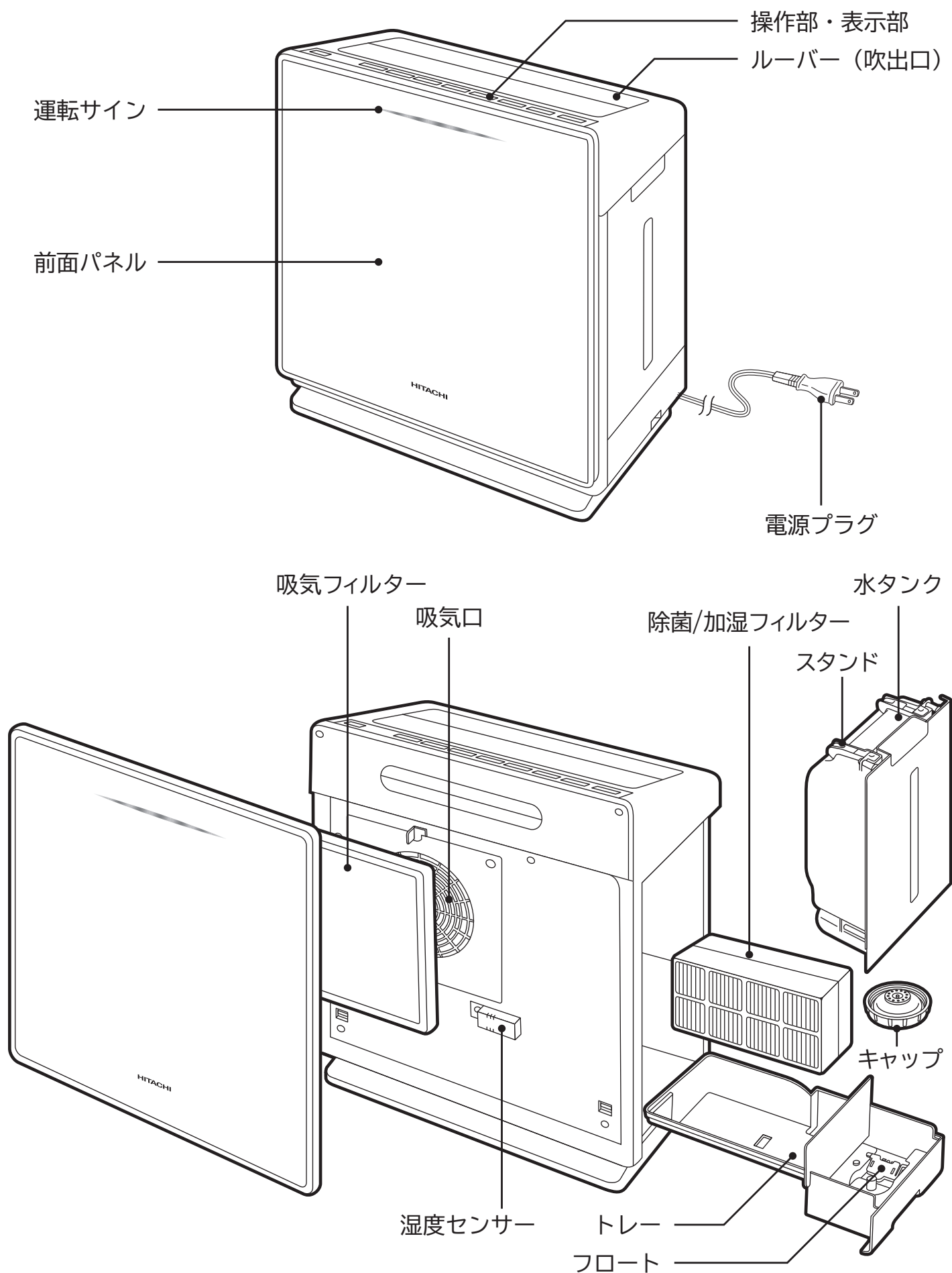
■現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度の状態を表示しています。

- 同じ室内でも温度差や気流などのため、場所によって湿度が異なる場合があります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。
- 湿度表示は5%毎になります。

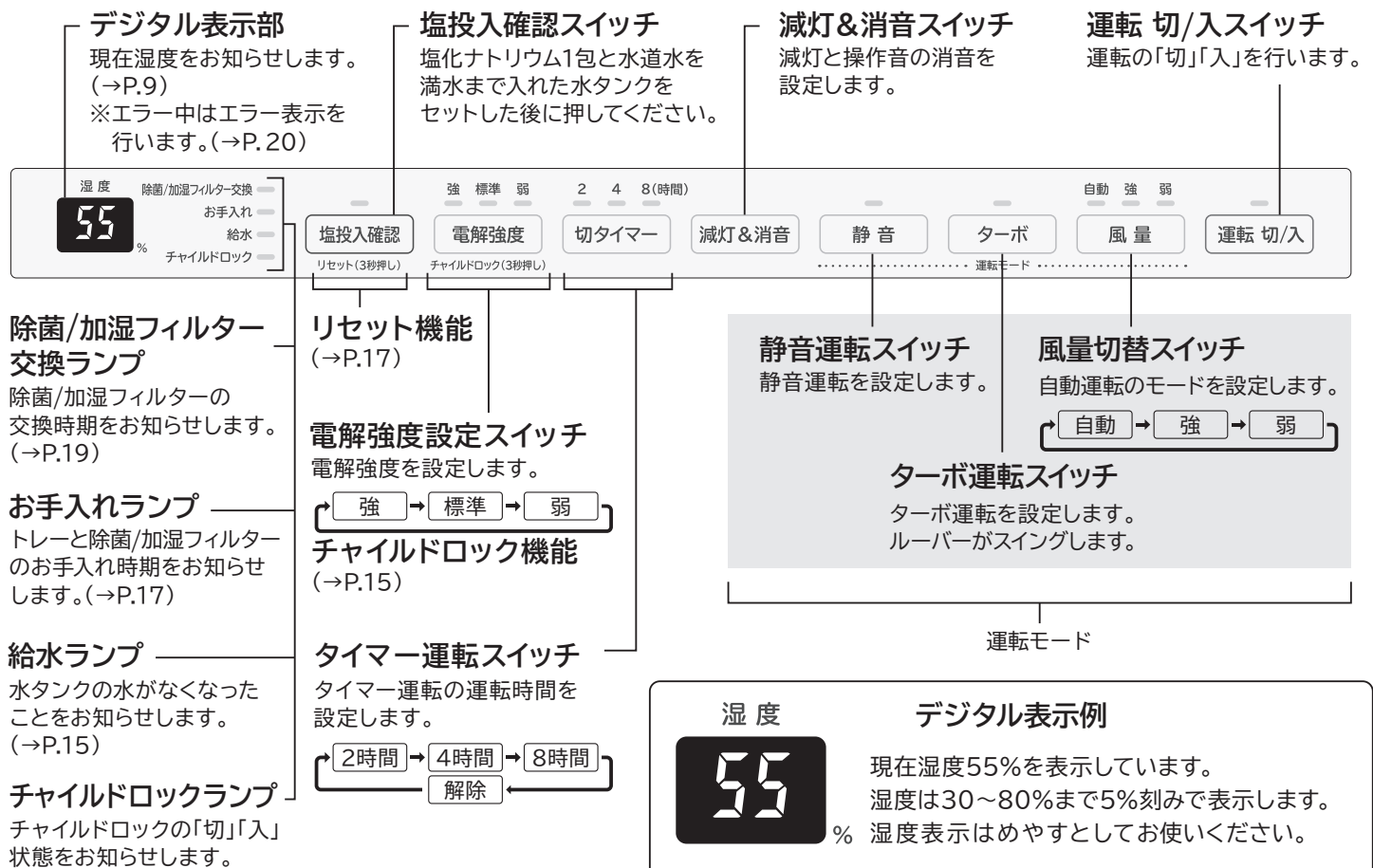


各部の名称

本 体



操作部・表示部



運転サイン

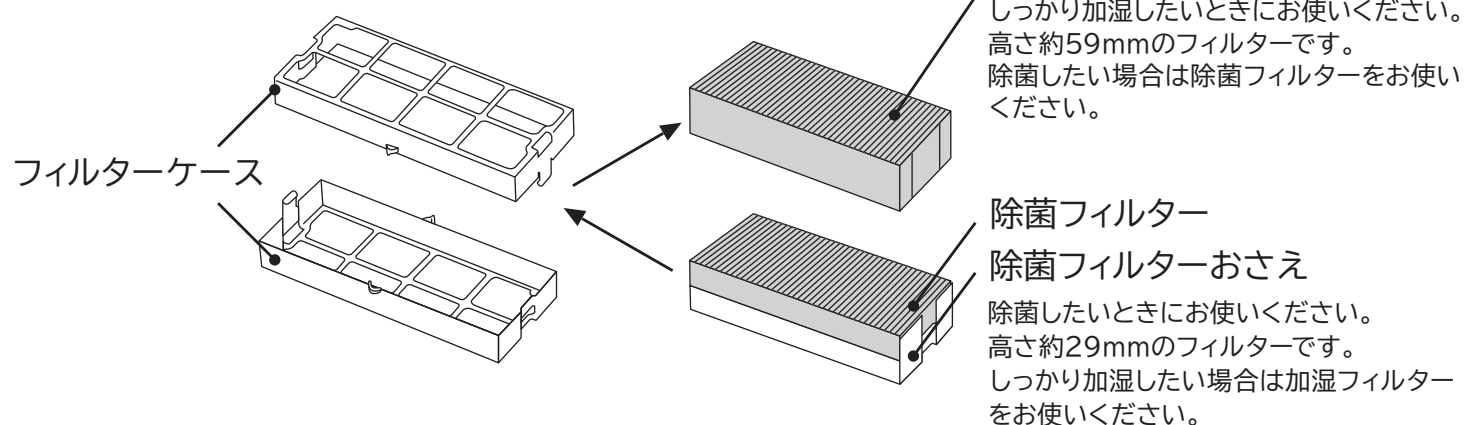
運転状態をサインでお知らせ。

- 運転状態により光が変化します。
- 運転サインは消すことができます。(→P.15)

運転状態		
ターボ		緑点灯
風量「強」		緑点灯
風量「弱」・静音		緑点灯
給水・エラー・お手入れ 除菌/加湿フィルター交換		赤点灯

除菌/加湿フィルター

必要に応じてフィルターケースに加湿フィルターと除菌フィルターを入れかえます。



準備する

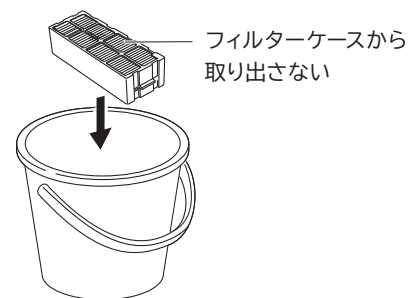
- 1 本体を水平な場所に置いてください。
- 2 本体を固定している輸送用テープをはずしてください。
- 3 前面パネルをはずし吸気フィルターをビニールから出してください。
- 4 水タンク、トレーをはずし加湿フィルターをビニールから出してください。

- 5 加湿フィルターを30分間、水道水に浸してください。

- フィルターケースに取り付けた状態で行ってください。
- 除菌フィルター初回使用時も同様に行ってください。
- 水を切るときはイラストの向きでフィルターを上下に振ってください。

- 6 加湿フィルターをトレーにセットし、トレーを本体に戻してください

※除菌したい場合は除菌フィルターをお使いください。

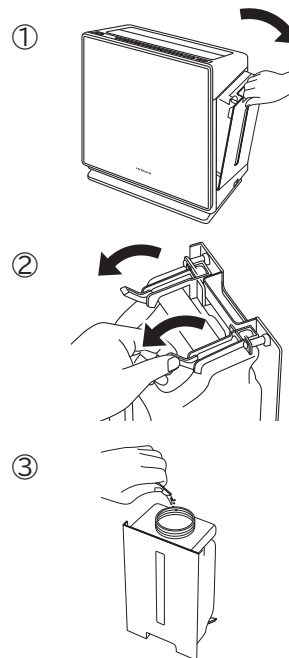


使いはじめるまでの手順

- 1 水タンクを本体から取り外してください。

- 2 水タンクのスタンドを引き起こして自立させてください。

- 3 塩化ナトリウム1包を投入してください。



⚠ 注意

必ず水道水(飲用)を使用し、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わない

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。



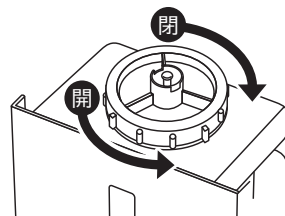
化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを水タンクやトレーに入れない

水タンク、トレーが破損して家財などをぬらす原因になります。

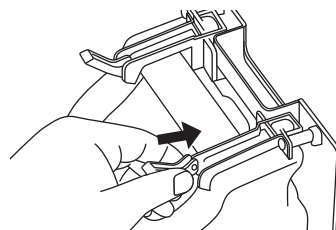


4 水タンクへ給水してキャップをしっかりとめてください。

- ①水タンクに水道水(飲用)を入れてください。
『必ず水道水(飲用)をご使用ください』をお読みください。(→P.8)
 - ②キャップを確実にしめ、水がもれていないことを確認してください。
- スタンドが外れた場合は右図のように取り付けてください。

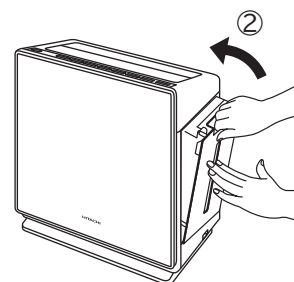


ご注意 キャップの中央部を押すと水が出てきますので
お気をつけください。



5 水タンクを本体にセットしてください。

- ①フロートの向きが正しいかご確認ください。(→P.18)
 - ②水タンク下部のツメに気をつけて本体に差し込んでください。
 - ③水タンクを本体に押し込んでください。
- 水が入った水タンクを本体にセットするときは、
静かにセットしてください。
 - 本体が破損し、水もれの原因になります。
 - 水タンクには約3.8リットルの水が入ります。



手をはさまないように注意

ご注意 水タンクの水は毎回新しい水道水と入れ替え、
常に清潔にしてお使いください。

6 電源プラグをコンセントに差し込む(交流100Vのコンセントを使用)

- 除菌/加湿フィルターが乾燥した状態から運転を開始する場合は、
給水後10分以上待ってから運転スイッチを押してください。

7 「運転切/入」ボタンを押すと塩投入確認ランプが赤く点灯します。

塩投入確認ボタンを押して解除して下さい。

- 給水を検知しても自動では消えません。
- 塩化ナトリウム投入を忘れてしまった場合は水タンクとトレー内の水を排水し「使いはじめるまでの手順」に戻って
再度、給水してください

お願い 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等が目立つときは、
『お手入れのしかた』にしたがってお手入れをしてからお使いください。(→P.16)

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

⚠ 注意

油分が浮遊する場所に
置かない

ひび割れによるけがの
原因になります。



禁止

不安定な場所や高い場所に
置かない

落下や転倒によるけがや
家財の水ぬれ、漏電、感電、
火災の原因になります。



禁止

油・可燃性ガスを使用したり、
漏れるおそれのある場所で
使わない

引火や本体への吸引による、
発火や発煙の原因になります。

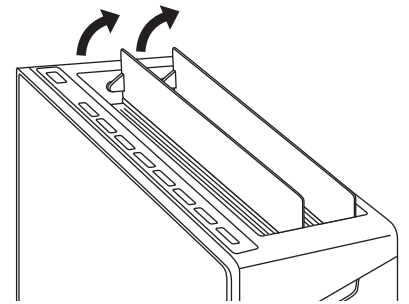


禁止

使いかた

1 運転を始めます。

- 「運転切/入」ボタンを押すと運転が開始します。
- 自動でルーバーが開閉します。
運転開始直後は準備運転を行うため、
ルーバーが開くまで約20秒間かかります。
- 初めてお使いのときは、「ターボ」「電解強度：強」で
運転を開始します。
- 表示部にお部屋の湿度が表示されます。
- 2回目以降は前回運転停止した時の設定で運転が
再開されます。



運転 切/入

2 運転モードを設定します。

- お好みに合わせて風量を「ターボ」「自動」「強」「弱」「静音」からお選びください。

広い部屋で運転したい方へ

- 効果的に加湿を行います。
- ルーバーがスイングします。

お部屋の湿度に合わせて自動で運転をしたい方へ

- ボタンを押すごとに→「自動」→「強」→「弱」→の切り替えができます。
- 「自動」は湿度約60%を保つように運転します。
- 「自動」設定にすると、電解強度が自動で「標準」に切り替わります。

運転音を抑えて運転したい方へ

- 運転音が少ない風量をおさえた運転をします。

ターボ

自動 強 弱

風 量

静 音

運転モード動作比較表

運転モード		自動風量切替	風 量	ルーバー
ターボ		OFF	ターボ	スイング
風 量	自動	ON	強～微	—
	強	OFF	強	—
	弱	OFF	弱	—
静 音		OFF	微	—

⚠ 注意

動植物に、直接風が当たる
場所で使わない

悪影響を及ぼす原因になります。



禁止

家財や壁、手すりなどの金属物に
直接風を当てない

シミやサビの原因になります。



禁止

2 4 8(時間)

切タイマー

3 タイマーを設定します。

- ボタンを押すごとに停止までの時間→「2」→「4」→「8」→「解除」→の切り替えができます。
- 残り4時間になると「4」、2時間になると「2」のランプが点灯します。
- 設定時間になると自動的に運転が停止します。
- 途中で終了する場合は「運転切/入」ボタンを押して停止させてください。

強 標準 弱

電解強度

4 電解強度を変更します。

- ボタンを押すごとに電解強度→「強」→「標準」→「弱」→の切り替えができます。
- 除菌効果を上げたい場合は「強」、電解による塩素系のニオイが気になる場合は「弱」にしてください。

運転 切/入

5 運転を停止します。

- 「運転切/入」ボタンを押すと運転が停止します。

除菌したいときは

除菌フィルターのセット

- 中身の加湿フィルターのみを交換し、フィルターケースは続けてお使いください。
- 交換後の加湿フィルター保管方法。(→P.21)捨てる場合は水をよく切って不燃ゴミとして捨ててください。
- 加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでトレーまたは容器の中で作業してください。

①17ページの「お手入れランプが点滅したら」を参照し、加湿フィルターを取り出します。

②フィルターケースのツメをはずし、フィルターケースをあけてください。

※ケースは前後共通です。

③中身の加湿フィルターを取り出します。

④付属の除菌フィルターと除菌フィルターおさえを取り付けます。

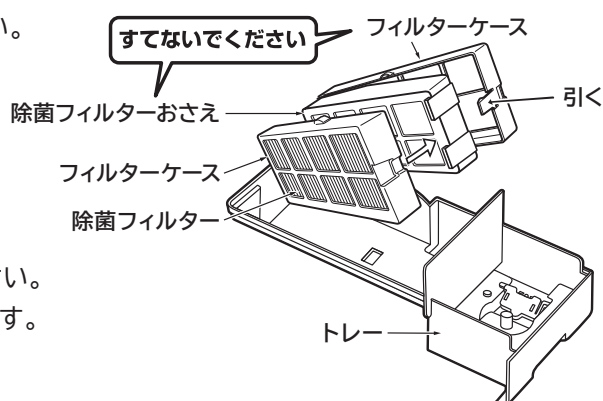
⑤フィルターケースをしめます。

⑥トレーに残った水を排水します。

⑦12ページの「準備する」を参照し、約30分間、水道水に浸してください。

⑧フィルターケースを、右のイラストどおりに、トレーの中へセットします。

- 除菌フィルターが前面パネル側にくるようセットしてください。



水タンクの塩水がなくなると。

- 水タンクの水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプが赤く点灯し、お知らせします。
- 本体から水タンクを取り外して給水し、塩化ナトリウム1包を投入してください。(→P.12～13)

電解強度

チャイルドロック(3秒押し)

「チャイルドロック」の設定のしかた。

- 「電解強度」ボタンを3秒押すと「チャイルドロック」がセットされ運転停止を除くすべての操作ができなくなります。
- 解除するときは再度、「電解強度」ボタンを3秒押してください。
- 「チャイルドロック」は運転中のみ設定可能です。

減灯&消音

「減灯&消音」の設定のしかた。

- ボタンを押すと、運転サイン・操作部ランプが暗くなり操作音が消えます。解除すると元に戻ります。
- 前回運転停止した時の設定で運転が再開されます。
- 通常の設定状態で長押しすると前面パネルの運転サインが消え、表示部が減灯します。

お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると性能の低下や故障・悪臭の原因になります。



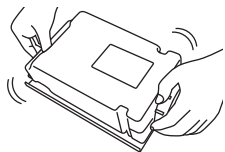
警告

お手入れのときは電源プラグを抜く

水タンク、本体、除菌/加湿フィルターのお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

水タンクのお手入れ(毎日)

- 少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。
- 給水は必ず水道水(飲用)を使用してください。



本体のお手入れ(汚れたら)

- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

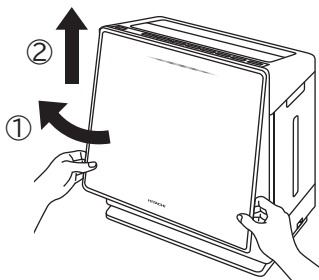
お願い

変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

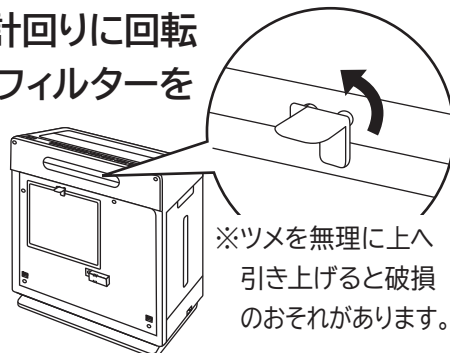
吸気フィルターのお手入れ(2週間に1回)

1 前面パネルを取りはずす。

- ①前面パネル下部を手前に引いてください。
- ②そのまま上部にスライドしてください。



2 ツメを反時計回りに回転させて吸気フィルターをはずす。



3 掃除機でほこりを取り除く。吸気フィルターを吸い込まないように注意してください。

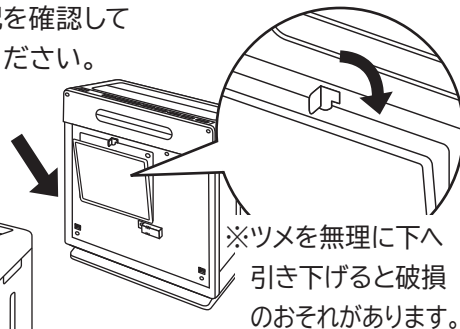
※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。

※水洗いはしないでください。
縮んだり、やぶけたりする場合があります。



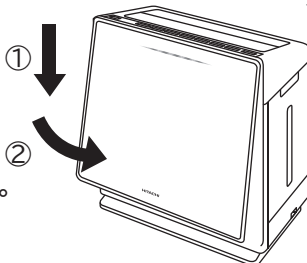
4 吸気フィルターを取り付けて、ツメを時計回りに回転して固定する

※「おもて」表記を確認して溝にはめてください。



5 前面パネルを取り付ける。

- ①前面パネルの上側2箇所を先に差し込んでください。
- ②下側のツメ2箇所を押し込んでください。



お願い

- 吸気フィルターの汚れがひどくなると加湿量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。2週間に1回は必ずお手入れをしてください。
- 吸気フィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。



警告

吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない
内部に触れると、感電やけがの原因になります。



お手入れランプが点滅したら（1週間に1回程度）

運転時間が、およそ1週間経過するとお手入れランプが点滅して、
トレйのお手入れ時期をお知らせします。

※お手入れランプが点滅しても運転は停止しません。

1 電源プラグを抜く

2 除菌/加湿フィルターを取り出す

除菌/加湿フィルターを取り出してください。(右図①)

※除菌/加湿フィルターは多量の水分を含んでいますので
水がたれないようにご注意ください。

3 トレーに残った水を排水する

排水は水道水を流しながら行う。(右図②)

4 トレーをお手入れする

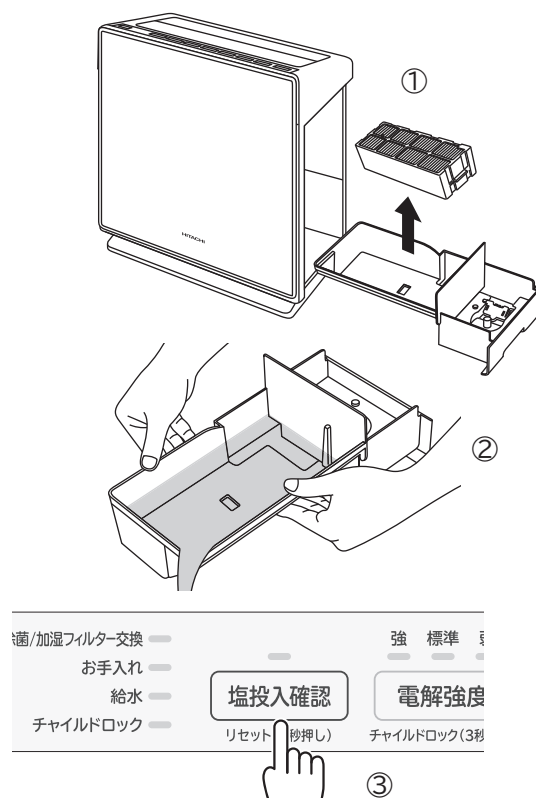
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

5 部品を元どおりセットする

お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、
電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

6 お手入れランプをリセットする

塩投入確認スイッチを約3秒間押してください。(右図③)
お手入れランプが消灯します。



お手入れランプが点灯したら（2週間に1回程度）

運転時間が、およそ2週間経過するとお手入れランプが点灯して、
除菌/加湿フィルターとトレйのお手入れ時期をお知らせします。

※お手入れランプが点灯しても運転は停止しません。途中でフィルターを交換するときは
トレйのお手入れ、お手入れランプのリセットをおすすめします。

1 電源プラグを抜く

2 除菌/加湿フィルターを取り出す

除菌/加湿フィルターを取り出してください。(右図①)

※除菌/加湿フィルターは多量の水分を含んでいますので
水がたれないようにご注意ください。

3 除菌/加湿フィルターをお手入れする（→P.18）

4 トレーに残った水を排水する

排水は水道水を流しながら行う。(右図②)

5 トレーをお手入れする

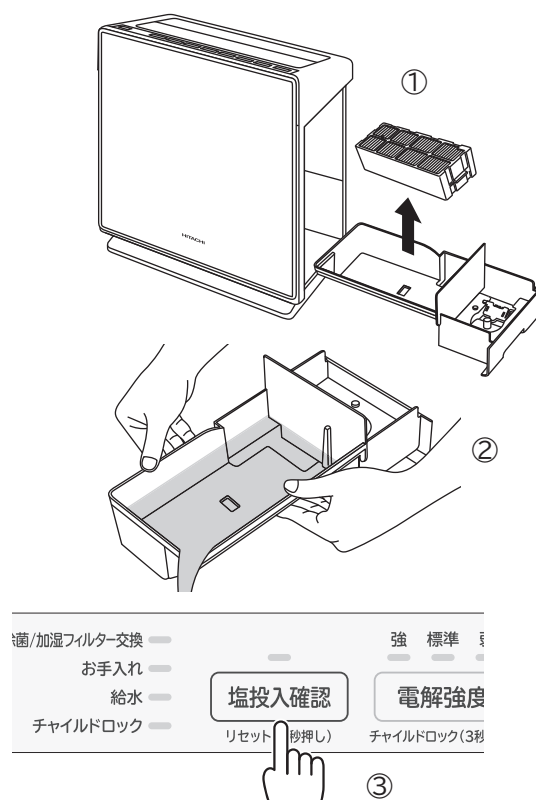
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

6 部品を元どおりセットする

お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、
電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

7 お手入れランプをリセットする

塩投入確認スイッチを約3秒間押してください。(右図③)
お手入れランプが消灯します。



⚠ 注意

水タンク・トレイから水がこぼれないように持ち運ぶ
床や家財などに水がかかると変色の原因になります。



水タンク、トレイの水を飲まない、動植物などに与えない
健康を害したり、悪影響を及ぼす原因になります。



除菌/加湿フィルターのお手入れ

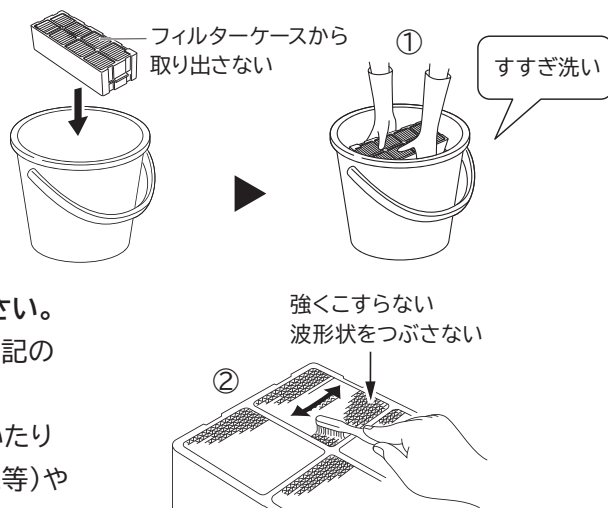
除菌/加湿フィルターを水洗いしてください。

- ① 除菌/加湿フィルターをケースごと容器の中ですすぎ洗いしてください。
- ② 除菌/加湿フィルターの表面についた水あかを歯ブラシ等で軽くこすり落としてください。
- ③ ①→②の手順を3～4回くり返してください。
- ④ 最後に再び水ですすいでください。

※お手入れには塩素系や酸性タイプの洗浄剤を使用しないでください。

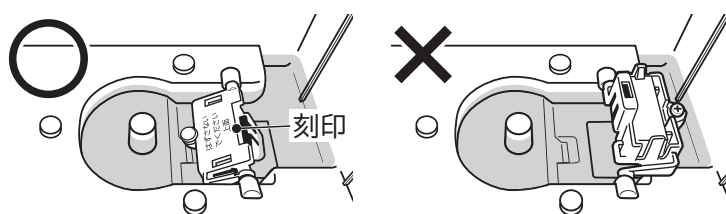
健康を害したり故障の原因、性能低下のおそれがあるため、必ず上記の手順でお手入れを行ってください。

※使い続けるうちに除菌/加湿フィルターが変色したり付着物が付いたりしますが、これは水道水中の不純物(鉄・カルシウム・マグネシウム等)や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。



フロートがはずれたとき

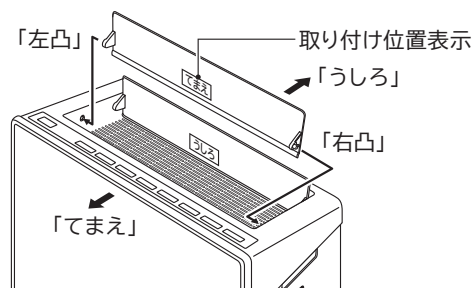
イラストを参考に、フロートの方向に気をつけて取り付けてください。



正しい向き: フロートの刻印が上向き
(丸い凸の方向にフロートが倒れている)

ルーバーがはずれたとき

運転停止後「てまえ」「うしろ」の取り付け位置表示を確認して、「右凸」を差し込んでから、「左凹」を取り付けてください。



お願い

- 除菌/加湿フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプはめやすとしてご利用ください。
- 除菌/加湿フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用除菌/加湿フィルターと交換してください。(→P.19)

除菌/加湿フィルターの交換のしかた

除菌/加湿フィルター交換ランプが点滅したら

●交換時期のめやすは、約12ヵ月(1日12時間運転の場合)です。

・フィルターを途中で入れ替えた際も運転時間の合計が約12ヵ月(1日12時間の場合)するとランプが点滅します。

●使用条件(水質や使用時間など)によって交換時期は異なります。

●次のような状態になったときは、交換してください。

- ・お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。 ・傷みや型くずれがひどいとき。
- ・水タンクの水の減りが極端におそくなったとき。

除菌フィルターの交換

●中身の除菌フィルターのみを交換し、フィルターケース、除菌フィルターおさえは続けてお使いください。

●除菌フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでトレーまたは容器の中で作業してください。

①17ページの「お手入れランプが点滅したら」を参照し、除菌フィルターを取り出します。

②右図フィルターケースの矢印部ツメをはずし、フィルターケースをあけてください。

※ケースは前後共通です。

③中身の除菌フィルターを取り出します。

④除菌フィルターおさえはそのままにし、
別売品の除菌フィルターを取り付けます。

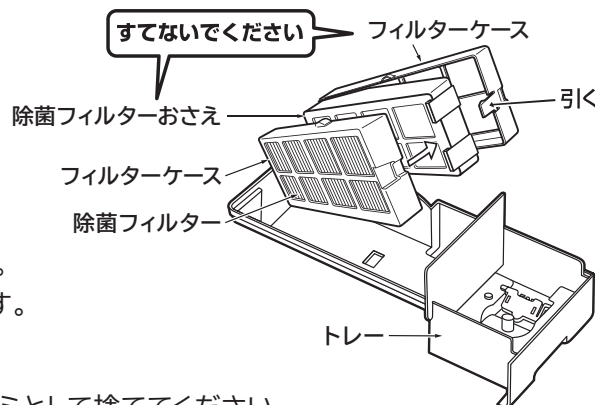
⑤フィルターケースをしめます。

⑥トレーに残った水を排水します。

⑦12ページの「準備する」を参照し、約30分間、水道水に浸してください。

⑧フィルターケースを、右のイラストどおりに、トレーの中へセットします。

●除菌フィルターが前面パネル側にくるようセットしてください。



お願い 使用済みの除菌フィルターは、水をよく切ってから不燃ゴミとして捨ててください。

加湿フィルターの交換

●中身の加湿フィルターのみを交換し、フィルターケースは続けてお使いください。

●加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでトレーまたは容器の中で作業してください。

①17ページの「お手入れランプが点滅したら」を参照し、加湿フィルターを取り出します。

②右図フィルターケースの矢印部ツメをはずし、
フィルターケースをあけてください。 ※ケースは前後共通です。

③中身の加湿フィルターを取り出します。

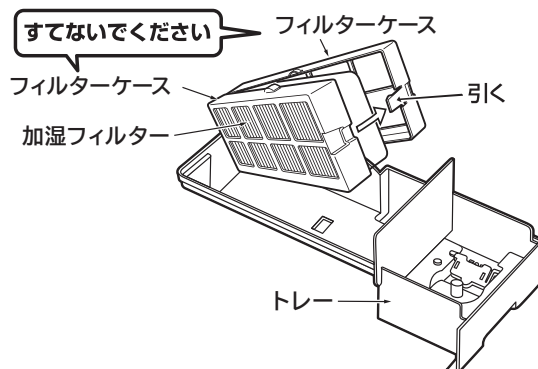
④別売品の加湿フィルターを取り付けます。

⑤フィルターケースをしめます。

⑥トレーに残った水を排水します。

⑦12ページの「準備する」を参照し、約30分間、水道水に浸してください。

⑧フィルターケースを、右のイラストどおりに、トレーの中へセットします。



ご注意 除菌フィルターおさえは捨てないでください。

お願い 使用済みの加湿フィルターは、
水をよく切ってから不燃ゴミとして
捨ててください。

⚠ 注意

排水は水道水を流しながら行う
シンクの酸化(サビ)の原因になります。



指示を守る

故障かな?と思ったら

エラーのお知らせ(デジタル表示とブザー音でお知らせします)

エラー表示	原因	処置方法
	本体が転倒している または傾いている	本体を水平で安定した、強度のある床面へ設置してください。電源プラグを抜いて、再度差し直してから運転を開始してください。本体が転倒して水タンク内、またはトレーの水がこぼれている場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、半日以上使わず、置いてから再度電源プラグを差し込み、運転してください。
	本体内部が異常に熱くなっている	電源プラグを抜き、半日以上使わず、置いてから再度電源プラグを差し込み、運転してください。それでも同じ表示がでた場合は、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
※は数字やアルファベットを表示します	本体の異常検知	電源プラグを抜いて、再度差し直してください。それでも同じ表示がでた場合は、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(→P.23)にお問い合わせください。

症状	原因	処置方法
運転スイッチを入れてもすべてのランプが点灯しない	①電源プラグがコンセントからはずれていませんか ②デジタル表示部にエラーを表示していませんか	①電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチを入れてください。(→P.12~13) ②エラーのお知らせを参照してください(→P.20)
給水ランプが点灯している	水タンクに水が入っていない	水タンクに水道水(飲用)を入れてください(→P.13)
水タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯している	①トレーが確実にセットされていますか ②フロートが引っ掛かっていますか ③本体が傾いていませんか	①トレーを確実にセットしてください(→P.12) ②フロートを正しく取り付けてください(→P.18) ③水平で安定したところに設置してください(→P.12)
吹出口からの送風がおう	①古い水を使用していませんか ②除菌/加湿フィルターやトレーに水あかやごみがたまっていますか	「お手入れのしかた」にしたがって、器具の掃除をし、新しい水道水(飲用)と入れ替えてください(→P.16~18)
塩素の臭いがする	電解水除菌システムによるものです	故障ではありませんので電解強度「弱」にしてご使用ください
現在湿度を表示し、運転が停止している	部屋の湿度が高く なりすぎたためです	湿度が下がると、自動的に運転を再開します【運転停止湿度目安】 風量「自動」時：68%以上 その他モード時：90%以上
現在湿度表示が他の湿度計の値と違う	①吸気フィルターにゴミが たまっていますか ②センサー近傍の結露により 運転開始直後に正しい湿度が 表示できない場合があります ③窓際など外気の影響を受けやすい 場所に設置していませんか	①吸気フィルターを掃除してください また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、差が出る場合があります(→P.16) ②約20分たってから再度、確認してください ③外気の影響を受けにくい場所に設置してください
「ポコ」「ポコ」音がする	水タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください
水タンクのスタンドが外れた		(→P.13)

症 状	原 因	処置方法
フロートが外れた		(→P.18)
運転開始時や風量変更時に「ウォーン」等の音がする	モーターの回転を制御するときに発生する特有の音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください
運転開始しない	運転開始直後は準備運転を行うためルーバーが開くまでは約20秒かかります	異常ではありません。しばらく運転しない場合は電源プラグを抜いて再度差し直してください
トレーの水が黄色い	フィルターに使用している材料が水に溶けたためです	異常ではありません 排水してください
フィルター表面に付着物がある	水道水中の不純物や空気中のホコリなどによるものです	異常ではありません 「除菌/加湿フィルターのお手入れ」にしたがって歯ブラシなどで軽くこすり落としてください(P.18)

保管(長期間使用しないとき)

①電源プラグを抜く

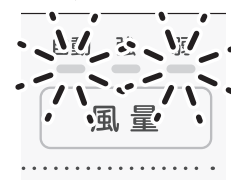
②お手入れをする

●16～18ページの「お手入れのしかた」にしたがって、掃除をした後、各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。
※湿ったまま保管するとカビが発生する原因になります。特に除菌/加湿フィルターは、水をよく切った上で下記③の「フィルター乾燥運転」を行い、じゅうぶん乾燥させてください。

③フィルター乾燥運転を行う

- 水タンク、およびトレーの水をすててください。
- 電源プラグを入れてください。
- 水をよく切った除菌/加湿フィルターをトレーに戻し、本体にセットします。
- 「風量」ボタンスイッチを約3秒間押し続けると、フィルター乾燥運転に入ります。
※フィルター乾燥運転は、2時間で自動的に終了します。
※水タンクやトレーに水が残っている場合はフィルター乾燥運転できません。
- 電源プラグを抜いてください。

交互に点滅します



お願い

フィルター乾燥運転をしても除菌/加湿フィルターの乾燥が不十分なときは、もう一度フィルター乾燥運転を行ってください。

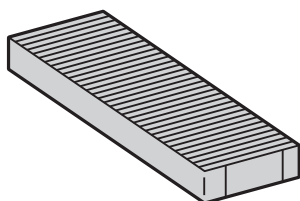
④湿気の少ないところに保管する

- 本機の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

別売部品

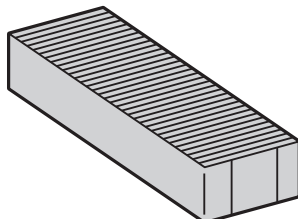
除菌フィルター

品番:HP-Z50JF
[希望小売価格]
1,870円(税込)



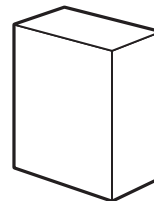
加湿フィルター

品番:HP-Z50KF
[希望小売価格]
3,300円(税込)



塩化ナトリウム(内容数:300包入り)

品番:HP-Z50S
[希望小売価格]
4,400円(税込)



(希望小売価格は2020年10月現在のものです。)

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(→P.23)にお問い合わせください。

① 保証書 (裏表紙についています)	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 保証期間はお買い上げの日から1年です。 </div>	
② 修理を依頼される ときは「持込修理」	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が 過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。 なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
③ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。 ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
④ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。	
	技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
	部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

仕様(形状、色相などは改良のためカタログや展示品から一部変更することがあります)

型 式		HLF-Z5000			
電 源		AC100V 50Hz/60Hz			
使 用 水		水道水(飲用)			
適用床面積目安※1		木造・和室：約10畳(17㎡)／プレハブ・洋室：約17畳(27㎡)			
		ターボ	風 量		静音
			強	弱	
風 量 (m³ / 分)	加湿フィルター	4.5	3.4	1.5	1.1
	除菌フィルター	3.5	2.4	1.4	1.0
加湿量 (mL/h) ※2	加湿フィルター	600	480	230	160
	除菌フィルター	320	250	130	90
消費電力 (W)	加湿フィルター	36	19	5	4
	除菌フィルター	32	16	5	4
運 転 音 (d B)		50	44	30	23
水 タ ン ク 容 量		約3.8L			
本 体 寸 法 (mm)		約幅400×奥行220×高さ520			
フィルター寸法 (mm)	加湿フィルター	約幅255×奥行98×高さ59			
	除菌フィルター	約幅255×奥行98×高さ29			
質 量		約8.6kg			
電源コードの長さ		約1.8m			
付 属 品		除菌フィルター、除菌フィルターおさえ、塩化ナトリウム(300包入り)			

※1 加湿フィルターを使用し、日本電機工業会規格(JEM1426)に基づき、プレハブ住宅・洋室の場合を最大適用面積とし、木造住宅・和室の場合を最小適用面積としたものです。

※2 室内温度20℃、湿度30%の環境における値です。

ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68（有料）
FAX 0120-3121-87
(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-8802-28
携帯電話 050-3152-2828（有料）
FAX 0120-3121-34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検



●長年ご使用の日立次亜塩素酸加湿器の点検を！

●日立次亜塩素酸加湿器の補修用性能
部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。

ご使用の際
このような
ことはありませんか

- 電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 電源プラグ、電源コード、操作パネルなどが異常に熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

日立次亜塩素酸加湿器保証書

持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に持込修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型 式	HLF-Z5000		※お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	本体：1 年
※お 客 様	ご住所 ご芳名	〒 - 様		
※販 売 店	住 所 店 名	〒 - TEL		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (チ) 昆虫類や小動物の進入が起因する故障及び破損。
- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口（→P.23）にご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（→P.23）にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」（→P.22）をご覧ください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号（日立愛宕別館）

電話 03-3502-2111